

# 文学部生の リアルな学生生活②

## 世界と私を繋ぐラウンジ

文学部人文社会学科

フランス語文学文化専攻二年

後藤 耕介

(群馬県立高崎高校)



国際交流・異文化交流と聞いて、皆さんはどんなイメージを思い浮かべますか？ 外国の方と何不由なく会話をし、お互いに楽しんでる姿でしょうか？ 私はここ中央大学のアカデミックラウンジで、何不自由なくとはいきませんが留学生との交流をしています。私が初めてアカデミックラウンジを訪れたのは、一年生の夏です。フランス語文学文化専攻の私には、高校生の頃から、大学ではできるだけ多くの留学生と友達になり、異なる文化・慣習・考え方を学び、将来は海外を飛び回る仕事に就きたいという、漠然としたイメージがありました。しかし、当時の私には彼らと流暢に会話する英語力もなく、いきなり話しかける勇氣ありません。このまま何もなしのまま四年間が過ぎていくのかと途方に暮れていた、そんな時に知ったのが「アカデミックラウンジ」

です。毎週水・金曜日の昼休みに留学生を交えたランチ会があり、いつも多くの人で賑わっています。『ここは絶対自分を成長させてくれる場所だ』。緊張しながらも、勇気を出してそのドアを開けました。

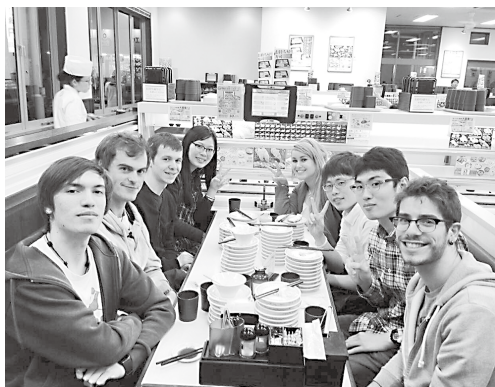
誰と、何を話していたのかも全く覚えていません。多少意味が分からなくとも彼らの話に必死についていく。自分のことよりもまずは相手の話を聞き、そこから相手と共感できそうな自分の話題も入れていく。分からないことばかりで力が入りっぱなしでしたが、これ以上ない充足感に満ち溢れ、来て良かったと心から思えました。

このアカデミックラウンジの役割、運営をしているのがフィリピンからの留学生、イアンです。彼の存在なくしてラウンジが成り立つことはないと言っても過言ではありません。気さくな彼の人柄は

いつも周りを和ませ、私のように緊張してどうしたらいいか分からない学生にも、変わらない笑顔で接してくれます。誰に対しても優しく、ラウンジを常に楽しい雰囲気ので満たしてくれるイアン。彼との出会いに、改めて感謝します。

ラウンジを通して今まで多くの留学生と会い、笑い、そして交流を深めてきました。この場所なくして私の大学生活は語れないほど、数えきれない思い出がたくさんあります。休日にはお寿司を食べに行ったり、トリックアート美術館で遊んだりなど、ラウンジを超えたものもたくさんあります。私は

ラウンジを通して今まで多くの留学生と会い、笑い、そして交流を深めてきました。この場所なくして私の大学生活は語れないほど、数えきれない思い出がたくさんあります。休日にはお寿司を食べに行ったり、トリックアート美術館で遊んだりなど、ラウンジを超えたものもたくさんあります。私は



留学生とお寿司屋さんで食事会

あなたに興味がある、あなたのことをもっと知りたい。英語がどれだけ話せるかより、どれだけ自分から突っ込んでいけるか。主体的にかつ相手を思いやることの大切さを、私は身をもってこの二年間で学ぶことができました。

何気ないやりとりから生まれていく留学生との繋がりは、彼らが

## 私とアカデミッククラウンジ

文学部人文社会学科  
フランス語文学文化専攻二年

厨子 智輝

(私立関東国際高校)



母国に帰った後にも続いていきま  
す。再会はいつも嬉しいもので、  
日本への留学が本当に楽しかった  
のだと、改めて彼らと時間を共有  
できて良かったと感じています。  
基点として、人と人との新たな関  
係を紡いでいく場所でありたい。  
それが、私が考えるアカデミック  
クラウンジの理想です。

私と、アカデミッククラウンジと  
の出会いはいふとした出来事でした。  
たまたま、同じ英語の授業を受講  
していた先輩に「英語をもっと話  
せるようになりたい」と相談した  
ところ、毎週水曜日と金曜日の昼  
休みの時間に留学生との国際交流  
ランチを開催しているということ  
を教えてもらい、実際にアカデミ  
ッククラウンジを訪れたのが、私と  
アカデミッククラウンジとの初めて  
の出会いでした。

実際に、アカデミッククラウンジ  
に行ってみたところ、そこでは英

語やフランス語が飛び交い、異国  
情緒の雰囲気が広がっていました。  
私は、高校生の時に短期留学を経  
験したことがあるので大体のイメ  
ージは持っていました。実際の  
雰囲気と自分のイメージの違いに  
最初の頃は戸惑いました。元々い  
た大学の先輩やアカデミッククラ  
ウンジに常駐している大学院生に支  
えてもらい、だんだんアカデミッ  
ッククラウンジの雰囲気に馴染むこ  
とができました。

私は、中学生の頃から外国の文  
化や歴史に興味を持つようになり、

そして人と話すのが好きという性  
格もありましたが、自分の英語力  
にあまり自信がなく最初の頃は留  
学生に話しかけることを躊躇して  
いました。勇気を振り絞って話し  
かけてみたところ、意外と問題な  
く会話をすることができ、その上

共通の趣味があることもわかり、  
留学生と互いの趣味の話をしてい  
ると話が盛り上がり、だんだんと  
仲良くなることができ、互いの言  
語を教え合うような仲になること  
ができました。そして、アカデミ  
ッククラウンジという枠を飛び越え  
て、プライベートで一緒に遊ぶ機

会も増え、留学生の留学期間も終  
わり、母国に帰った後でも連絡を  
取り合う友人もアカデミッククラ  
ウンジのランチ交流会のおかげでつ  
くることができました。

アカデミッククラウンジでは、昼  
休み時間に行われている留学生  
とのランチ交流会以外にも利用し  
ています。例えば、授業の空きコ  
マの時間に大学の友人や先輩たち  
と談話をしたりしています。そし  
て、私の専攻はフランス語文学文  
化専攻ということもあり、ランチ  
交流会で出会ったフランス人交換  
留学生にフランス語の授業中にあ  
まりよくわからなかった点につ  
いて教えてもらったり、フランス語  
の授業で課された宿題を手伝って  
もらったりしています。いつも、



アカデミッククラウンジのランチ交流会

私の勉強を支えてくれるフランス  
人交換留学生には感謝しています。  
アカデミッククラウンジを通して、  
多くの友人をえることができました。  
彼らとアカデミッククラウンジ  
で出会えたことよって、私の大  
学生活は当初より豊かになったと  
確信しています。私の大学生活を  
支えてくれている大学の友人、先  
輩には大変感謝しています。